

# スーパーアークス月寒東店を計画 設計は総合プランニングセンター

ラルズ(札幌市中央区南13条西11丁目2の32、斉藤弘社長)は、スーパーアークス月寒東店の新設を計画、総合プランニングセンターで設計を進めている。延べ床面積は約3000平方メートル。札幌市に大規模小売店舗立地法(大店立地法)に基づき届け出をした。

26平方メートル。スーパーマーケットのほか、テナントを数店誘致する考え。建設地は札幌市豊平区月寒東3条8丁目1の現在4店舗ある。

上57台の計150台。駐輪場は48台分を設ける。設定している。スーパーアークスは現在4店舗ある。

1。開店日は10月21日に

## 本デ 日グラン 青木あすなる建設で グランファアーレ幌西新築

日本グランデ(札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長)は、分譲マンションの仮称「ランファアーレ幌西新築」を主体、設備一括して青木あすなる建設で着工した。

規模はRC造、11階、

## 10年度医療等施設整備国庫補助協議施設

### えぽつくの多機能型障がい者 サポートセンター創設など

道保健福祉部

道保健福祉部は、2010年度の医療・保健衛生、社会福祉などの施設整備国庫補助協議施設を所、増築1カ所のほか、室蘭市内の日鋼記念病院で土砂災害防止工事を計画。

タ1施設整備▽医療法人 人函館カトリック社会福祉教会①うみのほし学園 改築②知的障害児通園施設30人

## 環境振動影響を評価 鹿島 地盤・基礎・建物まで 一体的にモデル化し予測

鹿島はこのほど、建物や精密機器工場の振動機器などに対する外部からの環境振動の影響を、精度良く評価できる予測評価法を開発した。振動源から地盤、基礎、建物まで一体的にモデル化し、3次元解析で求めるのが特長で、地盤・基礎モデルと建物モデルの応答を別々に求めていた従来に比べ、低コストで迅速に予測可能。建設前に合理的な振動対策の検討ができ、工場の早期稼働に貢献する。

耐震安全性の評価で実績のある地盤・基礎・建物の一体解析手法をベースとし、環境振動分野向けとして開発。詳細に建物のモデル化をし、建物内のどの位置でも実現象に近い振動の広がり特性を再現できる。

既存工場の設備機器の振動が、60分間隔で新設する工場の2階に設置する予定の振動装置の稼働に影響を及ぼすという事例に適用した。

機器設置予定位置で同評価法を使って振動評価をしたところ、設計案では機器の振動許容値をク

## 萩中代表の留任決める ICAが10年度総会

インテリアアソシエーション(ICA)は27日、INAX札幌ショールームで2010年度総会を開き、任期満了に伴う役員改選で萩中留美子代表(PIC&Design)の留任を決めた。総会に先立ち、INAX道支社の吉田誠一郎長らが住設業界の現状と、リフォームを中心とした同社の営業戦略を説明した。

総会では、萩中代表のほか、半田時子(アルテ

## で着工 ノク この新築

谷1丁目10、植野治彦社長)は、四谷学院札幌校新築を主体、設備一括して竹中工務店に決め、着工した。

規模はS造、8階、延べ2799平方メートル。東京



このほか、減少傾向にある会員数について協議。増員への取り組みや会の活性化方策について意見を交わした。